



■ 株主メモ

決算期 3月31日  
 定時株主総会 毎決算期の翌日から3ヵ月以内  
 基準日 3月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします)  
 利益配当金 3月31日 (中間配当を実施する場合は9月30日)  
 受領者確定日  
 公告の方法 日本経済新聞に掲載いたします  
 証券コード 6727 (JASDAQ)  
 名義書換代理人 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
 住友信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号  
 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (郵便物送付先) 〒183-8701  
 東京都府中市日鋼町1番10  
 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 住所変更等用紙のご請求 ☎ 0120-175-417  
 その他のご照会 ☎ 0120-176-417  
 (ホームページ) http://www.sumitomotrust.co.jp/  
 同取次所 住友信託銀行株式会社本店  
 および全国各支店

<http://www.wacom.co.jp/>



WACOM

株式会社ワコム

〒349-1148  
 埼玉県北埼玉郡大利根町豊野台二丁目510番地1  
 TEL.0480-78-1211 (代表)  
 FAX.0480-78-1220

郵便はがき

1 6 4 - 8 7 2 0

料金受取人払

中野坂上局承認

266

東京都中野区本町1-32-2  
 ハーモニータワー18階  
**株式会社 ワコム**  
 経営企画部 行

差出有効期間  
 平成16年12月  
 31日まで

●切手不要



氏 名 \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_ (都・道・府・県)

性 別 男・女 \_\_\_\_\_ 年齢 ( ) 歳

株式投資歴 a. 3年未満 b. 3年以上10年未満  
 c. 10年以上20年未満 d. 20年以上

職 業 \_\_\_\_\_



代表取締役社長

山田 正彦

## 人にやさしいインターフェイスのグローバルリーダーでありつづけます。

### ごあいさつ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素から株主の皆様には格別のご支援をいただき心より感謝いたします。ここに当社の平成15年4月1日から平成16年3月31日に至る第21期事業報告書をお届けいたします。

当社は1983年以来「人間とテクノロジーの調和ある発展」をめざして、独自のセンサー技術の中核としたユーザーインターフェイスの研究・開発を行ってまいりました。また、中長期的なグローバルリーダーシップの確立に向けて積極的な海外事業展開を行ってまいりました。現在、当社のペンタブレット製品は世界の映画産業、アニメ、デザイン、ゲーム業界などの発展に欠かせない標準ツールとなっています。また、ブロードバンド、デジタルカメラや液晶ディスプレイの普及などにより、一般ユーザーの拡大に加えて医療、教育等の業務分野においても利用が大きく拡大しています。今後、当社はデジタルペーパー時代のデファクトスタンダードを確立すべく、タブレットPCや携帯電話などのモバイル情報機器や情報家電などの新規分野への技術ソリューションの提供に積極的に取り組んでまいります。また、新規技術や新規事業開発への積極的投資をおこない、グローバルなブランドリーダーシップの確立をとおして事業発展と収益力の継続的向上、企業価値の飛躍を目指します。

ワコムは人にやさしいインターフェイス技術を通して人間の創造性の拡大に貢献してまいります。

### 前期の事業動向と業績について

第21期におけるわが国経済は、上半期においては株価の上昇など一部に明るさが見られたものの、中東情勢の不安定と欧州経済減速や新型コロナウイルスSARS感染拡大によるアジア圏市場の混乱などもあり低調に推移いたしました。下半期に入り、景気回復の兆しが見えてまいりましたが、円高ドル安や個人消費の停滞など、懸念を残しつつ推移しました。このような事業環境のもと、当社グループは事業環境の変化に柔軟に対応しつつ、オリジナル製品群の新規利用分野への認知拡大と販売体制の強化を図ってまいりました。また、新製品の開発とコンポーネント事業の成長基盤構築に努めてまいりました。さらに懸案であった米国特許訴訟を和解によって終結しました。なお、事業の選択と集中をすすめるため株式会社ワコムアイティの株式を売却し、平成16年1月1日付けで同社を連結対象子会社から除外するとともに、株式会社ワコムネットを簡易合併の手続きにより吸収合併しました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は売上高16,515百万円（前年同期比9.8%増）となり営業利益は1,702百万円（同64.5%増）、経常利益は1,671百万円（同62.1%増）、当期純利益は589百万円（同17.2%増）になりました。

### 今期の見通しと中長期の事業戦略について

第22期は当社グループの主要事業分野の成長をさらに加速します。従来のカンパニー制度を解消し、電子機器事業を中心とした事業体制の再編、及びグローバルな部門統括機能によって地域間連携を進め、「事業成長の加速」を図ります。また、韓国現地法人の設立や中国、台湾のSCM拠点の設立を通じてグローバル企業として成長基盤の強化にも取り組んでまいります。ペン・センサーコンポーネント事業においては、従来のタブレットPCに加えて携帯電話や情報家電などの新規分野への事業拡大を積極的に進めます。

当社は今後も「人間とテクノロジーの調和ある発展」を社是に、独自のセンサー技術を基盤にグローバルに活躍する企業としてデジタルペーパー時代のデファクトスタンダード（業界標準）を目指します。そして、更なる顧客満足度の向上による市場拡大とキャッシュ・フロー経営の重視により、平成16年に策定した中期計画「WP212」\*の達成に邁進してまいります。

\*「WP212」とは平成20年3月期までに連結売上高の年平均20%以上の成長、連結売上高営業利益率12%以上を目標とすることを意味しております。

### 配当政策、株主へのメッセージ

当社は、お蔭様で平成15年4月24日にJASDAQ市場に上場を果たすことができました。これもひとえに、皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。つきましては、当社の感謝の意を表するため、平成16年3月31日現在の株主の皆様に対して、普通配当に加え、JASDAQ上場記念配当を実施させていただきます。

当社は10年後も業界のグローバルリーダーとして活躍、貢献していくために開発力・技術力と事業基盤への投資を重視してまいります。そして、中長期的に企業価値の向上に努めながら、当社の製品・技術が今後もますます社会生活の中で活用され、より役立つ存在になっていくように役員をはじめ従業員一同邁進してまいります。

今後とも株主の皆様の一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## Corporate Philosophy

### 「人間とテクノロジーの調和ある発展」

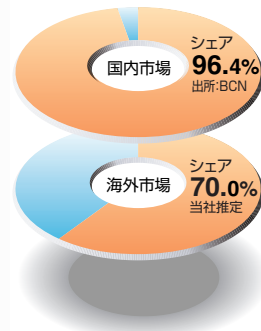
- ◆ 私たちは、企業活動を通して、社会に貢献する。
- ◆ 私たちは、お客様に感動と喜びを提供する。
- ◆ 私たちは、常に創意工夫し、新しいことに挑戦する。

## History

- 1983. 7 ● 資本金48百万円で株式会社ワコムを設立（埼玉県上尾市）  
● 電子機器事業及びECS（エンジニアリング コラボレィティブソリューションズ）事業を開始
- 1988. 6 ● 欧州の販売拠点として、西ドイツノイス市にワコムコンピュータシステムズゲーエムペーハー（現ワコムヨーロッパゲーエムペーハー）を設立（現連結子会社）
- 1991. 8 ● 米国の販売拠点として、米国ワシントン州バンクーバー市にワコムテクノロジーコーポレーションを設立（現連結子会社）
- 1998. 3 ● 製品情報管理（PDM）システム「SmartPDM」発売
- 1998. 9 ● プロフェッショナルグラフィックス・タブレット「Intuos」発売
- 1999. 6 ● 電気設計用CAD「ECAD/dio」発売
- 1999. 11 ● コンシューマグラフィックス・タブレット「FAVO/Graphire」発売
- 2000. 3 ● 中国の販売拠点として、中華人民共和国北京市にワコムチャイナコーポレーションを設立（現連結子会社）
- 2001. 9 ● 液晶一体型タブレット「Cintiq」発売
- 2001. 10 ● プロフェッショナルグラフィックス・タブレット「Intuos2」発売  
● コンシューマグラフィックス・タブレット「FAVO F-410, F-510/Graphire2」発売  
● ペン・センサーコンポーネントビジネスのマーケティング・研究開発拠点として、英国ケンブリッジ市にワコムコンポーネントヨーロッパを設立（現連結子会社）
- 2002. 4 ● EHI（エレクトロニック・ヒューマン・インターフェイス）カンパニーを設立
- 2003. 4 ● JASDAQ市場に株式上場
- 2003. 9 ● コンシューマグラフィックス・タブレット「Graphire 3 /FAVO F-430,F-630」発売  
● 「ECAD/dio（ディオ）」Ver4.0発売
- 2004. 4 ● 韓国の販売拠点として、大韓民国ソウル市にワコムデジタルソリューションズ株式会社を設立（現連結子会社）

# 事業概況 Business Overview

ワコムはタブレットのデファクトスタンダードとして、人にもっとやさしいインターフェイスを追求しています。



## タブレットのデファクトスタンダード

当社は創業以来、「人にもっとやさしいインターフェイス」を追求しコンピュータを簡単な道具として使えるような研究・開発を行ってきました。当初、製造業向けCADソフトの座標入力用装置として開発したデジタイザの技術が、その後の改良と応用により80年代後半にはコンピュータグラフィックス用の需要に応え、パソコン上で絵を描くツールとしてペンタブレットの開発に成功しました。その操作性、表現力を高く評価され、グラフィックスデザインをはじめ、映画やゲーム、アニメーション制作現場では不可欠な存在となっております。近年では各家庭へのパソコン及びデジタルカメラの普及やブロードバンドの急速な普及がパソコン上で絵を描くことへの大きな追い風となりタブレット市場は大きく拡大しています。

また、タブレットとモニターを一体化し、入力と表示がまさに紙にペンで描くようにできる液晶一体型タブレットは、

電子カルテ等の医療関係のビジネスへの利用や教育ツールとしての文教関係、自動車デザイン等への用途拡大で今後の成長が見込まれています。

最近ではタブレットの基礎技術であるセンサーを他社に提供し新たな市場発掘にも力を注いでおり、タブレットPCをはじめ、今後は携帯電話、PDA、情報家電分野へと拡大し、ユビキタス時代の重要なキーデバイスとなってきております。また、伝統的な印鑑文化とIT技術の融合である「電子印鑑」の開発・製造や、創業当時の事業であるCADの開発・販売でも、ビジネス界への貢献を続けています。

こうした高い技術力によるグローバル市場で圧倒的なトップリーダーとしての地位を確立し、デジタルペーパー時代のデファクトスタンダードを目指してまいります。

ワコムの製品ラインは、世界のデファクトスタンダード「コードレス電磁誘導方式」\*から生まれています。



\*コードレス電磁誘導方式：ペンとタブレット間で、電磁波を高速でやり取りすることで位置情報を特定する方式。タッチパネル方式に比べて、解像度、追従性、耐久性などで勝ります。

ビジネスでもパーソナルでも、最先端の技術、マーケティングを集約した製品とサービスの提供を行っています。

■ 電子機器事業

さまざまなシーンで活躍するワコムのタブレット

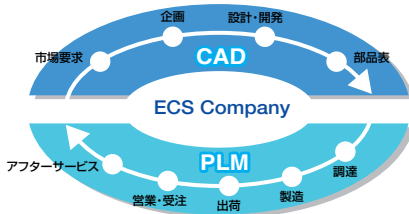


当事業は、ペンタブレット及びそれに関連するソフトウェアの開発・製造・販売を主な業務としています。ペンタブレットとは、電子ペンとタブレット本体を基本構成とする入力機器です。主な用途はイラストレーションや写真加工、印刷、映像作品など多様に展開しています。現在、当事業部は全世界で450件を超す「取得済み及び出願中特許件数」を保有しており、世界のタブレット市場の約70% (当社推定)、国内では96.4% (BUSINESS COMPUTER NEWS 2004/1/26

Vol.1024) のシェアを確保するタブレット分野のリーディングカンパニーです。さらに、日本、米国、欧州、中国、韓国に子会社を持ち全世界での新しい市場の発掘及び販売体制を構成しております。今後は、営業活動のより一層の強化によって一般のユーザーや医療・教育分野等にも当事業部製品が浸透していき、今後の更なる展開に向けて一層、研究・開発・販売に努めてまいります。

■ ECS事業

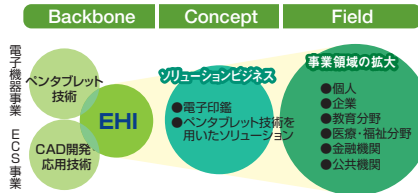
物づくり全般をサポート



当事業は、製造業向けに設計支援システムをベースとしたソフトウェアパッケージの開発・販売と、それに付帯するシステム構築を主な業務としています。電気機器・制御機器に特化した電気設計用CADシステム及び機械設計用CADシステムを開発するとともに、製品情報の一元管理を可能にするPDM (Product Data

Management) システムも販売しています。今後は、製造業の海外移転等が進む中においても事業規模を維持し、既存顧客へのサポートに力を注ぎます。そして、顧客満足度の重視や、生産性・効率の高い事業運営を心がけるとともに、成長が期待できるPDM製品の拡販に努めてまいります。

■ EHI事業



当事業は、当社コア技術を前提とした、法人向けの機器及びソリューションの開発・販売を主な業務としています。今後、大きなうねりになると考えられるデジタルペーパー社会を視野に入れ、そこに必要とされる電子印鑑やペンに代表される機器を続々と開発します。それをもとにコンピューターメーカーのみならず、当事業がこれまでビジネスパートナーとしてお付き合いしてこなかった分野の企

業との積極的な提携を推進してまいります。特に、電子印鑑に関しましては、すでに「日本の伝統的な印鑑の文化とIT技術の結合である」と高い評価をいただいております。電子政府の導入に先進的な取り組みを見ている地方自治体をはじめ、複数の民間企業で導入が始まっております。今後は、教育分野、医療・福祉分野、金融機関等に積極的にアプローチし市場拡大に努めてまいります。

WACOM Cintiq



画面を直接ペンで操作する液晶一体型タブレット。グラフィック制作だけでなく、ビジネスの現場でも幅広く利用されています。現在15型、17型及び18.1型のカラーTFT液晶ディスプレイを搭載した3モデルをラインアップ。コードレス&電池レスペンが快適な書き込みと操作を実現します。更に、高精度、高分解機能、高速読取可能な高性能が魅力です。

WACOM intuos2



ワコムの最先端のタブレット・システム。プロフェッショナル仕様として世界中のクリエイターから高い評価を得ています。1024レベルのペン筆圧機能、多彩な表現を可能にする±64レベル傾き検出機能、デバイスIDなど、比類ない操作性と高性能を備えたグラフィックスタブレットです。

WACOM FAVO



世界のクリエイターに愛用されている上位機種に迫る高性能を備えつつ、一般のPCユーザーにとっての使いやすさを追求。512レベルの筆圧機能に、指先で簡単に操作できる2サイドスイッチで使いやすいペンと、コードレスマウスで快適な操作を実現します。

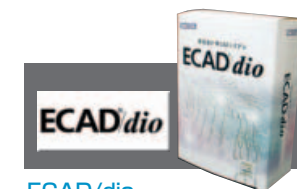
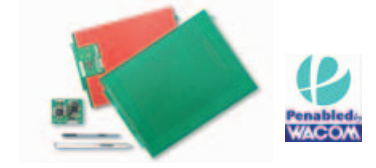
WACOM Smart Scroll



スクロール、ズーム、ショートカットが簡単に操作できるワコムのスマートスクロール。右手にペンやマウスを持ち、左手にスマートスクロールを持って作業すれば、効率が大幅にアップします。

【ペン・センサーコンポーネント事業】

ワコムでは完成品ばかりではなく、ペン入カタブレット技術を様々なシステム機器分野に供給するペン・センサーコンポーネント事業を行っています。当社が提供するセンサーユニットと組み込みの技術を「Wacom Penabled Technology」(ワコム・ペナブル・テクノロジー)と呼び、全世界的なブランドとして使用しています。応用範囲はPCに限らず携帯情報端末機器からシステム機器、アミューズメント、玩具の分野など全世界で幅広く活用されています。



ECAD/dio

業界No.1シェアを誇る新世代電気設計用CADシステムです。電気設計の作図だけでなく、設計データとその周辺機器を相互に結びつけ、業務全般の効率化をサポートします。



SMARTEAM

革新的な製品情報コラボレーションツールです。企業組織に求められるデータ管理のニーズに、リーズナブルなソリューションを提供。競争力強化や信頼性向上に貢献します。



Proφ Professional

世界標準のAutoCADをプラットフォームにした機械設計用CADシステム。プロフェッショナル向けの2次元機械設計の環境をAutoCAD/AutoCAD LT上で構築します。



Proφ Denki

世界標準のAutoCADをプラットフォームにした電気設計用CADシステム。電気CADのパイオニアとしてのノウハウをAutoCAD/AutoCAD LT上で構築します。

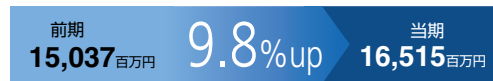


タブレット上で電子印鑑を使用し、電子文書に捺印するシステムです。電子印鑑内のIDを使用し、まさに「紙に捺印する」感覚でパソコン上での決済を実現します。

※電子印鑑 inppetletは、シヤチハタ株式会社の製品です。当社は、inppetletに独自の電子ペン技術を活用し、提供しております。

# 営業の概況 <連結> Business Review

## 売上高



## 営業利益

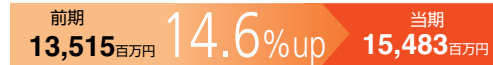


## 当期純利益



## 電子機器事業

### 売上高



### 営業利益



## ECS事業

### 売上高



### 営業利益



## EHI事業

### 売上高



### 営業利益



**当** 連結会計年度におけるわが国経済は、一部に明るさが見えるものの依然として低調に推移いたしました。このような事業環境の中、変化に柔軟に対応しつつ、当社ではオリジナル製品群の新規利用分野への認知拡大と販売体制の強化を図るとともに、新製品の開発に努めてまいりました。

結果として、当連結会計年度の売上高は16,515百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は1,702百万円（同64.5%増）、当期純利益は589百万円（同17.2%増）となりました。尚、平成12年6月以降継続しておりましたタブレットドライバーに関する一連の特許訴訟についても、和解金の一括払いを対価とする包括的なライセンス契約を締結することで、平成16年4月9日に和解が成立しております。その後、当該和解金は支払済みであり、当期の費用に計上しております。

## 電子機器事業

当事業においては、上半期、イラク戦争や新型肺炎SARSの影響による個人消費の停滞など、市場環境の変化を回避することができませんでした。しかし、下半期にはいり事業環境が改善の様子を見せた結果、業績は堅調に推移いたしました。

コンシューマ向け分野においては、コンシューマ向け新製品「WACOM FAVO（ファーブ）」の発売にあたって、今までペンタブレットに関心が薄かった新規層にPR対象を広げることによって、需要を創出し、業績に大きく貢献いたしました。

また、液晶一体型タブレット分野においても「Cintiq18SX/C-1800SX」が米国内の自動車産業や、映画製作などのプロフェッショナル・グラフィックス分野で好調に推移いたしました。また、医療分野においても、大規模電子カルテシステムに当社の液晶一体型タブレットが採用されるなど、堅調に利用分野が拡大しております。

さらに、ペン・センサーコンポーネント分野は、タブレットPC新規顧客の獲得や、既存顧客各社による新モデルの量産が開始され、業績の安定に貢献しました。

## ECS事業

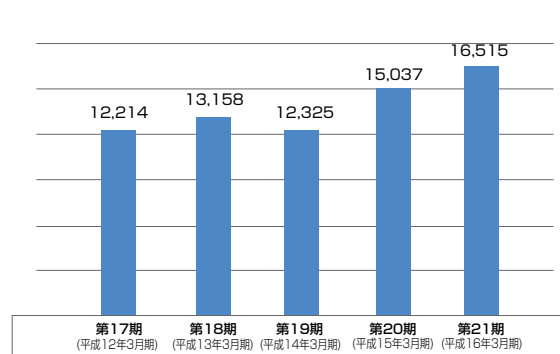
当事業においては、主力製品の「ECAD/dio（ディオ）」Ver4.0を平成15年9月にリリースし、ユーザーの機能面における要望に応えるとともに買い替え需要を確実に受注すべくこまめな営業活動に取り組みました。製品情報管理（PDM）分野においては販売店への技術支援を強化し10%超の売上成長を実現しました。また、事業部としては効率良いスリムな体制で利益の確保につとめた結果、大幅な営業利益の改善が図られました。

## EHI事業

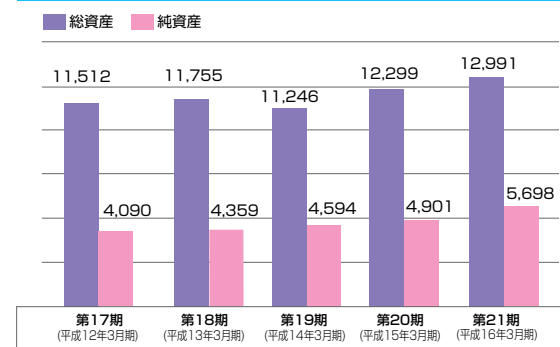
当事業においては、電子印鑑コンソーシアムを中心とした営業活動を通じて自社製品と他社のソフトウェア製品とを組み合わせたシステムソリューションビジネスを提供し、電子印鑑の認知度を深めつつ、電子印鑑ビジネスの基礎となる基盤を構築してまいりました。その結果、複数の地方自治体での導入事例や、ペーパーレス化を目指した民間企業での導入事例を構築することができました。さらに、重要文書の送達、蓄積サービスというASP\*向けのソリューションの基礎構築を進めています。

\*ASPとは、サーバ上にアプリケーション・ソフトを用意し、インターネットなどのネットワークを通じてユーザー企業がソフトを利用できるようにするサービスを提供するITベンダのこと。

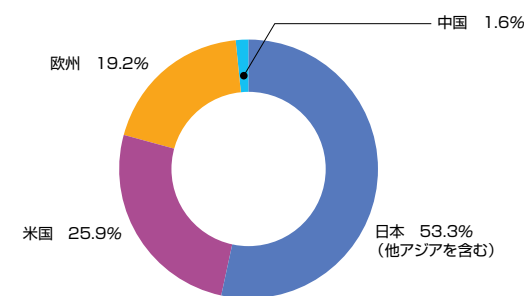
## 売上高 単位:百万円



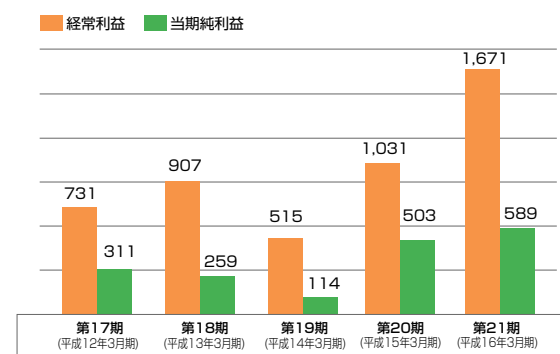
## 総資産・純資産 単位:百万円



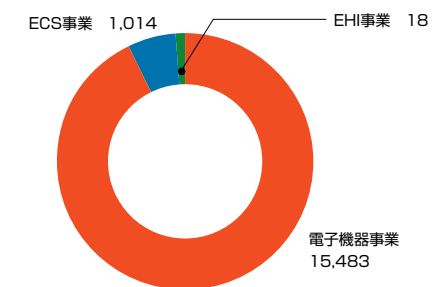
## 所在地別売上高比率



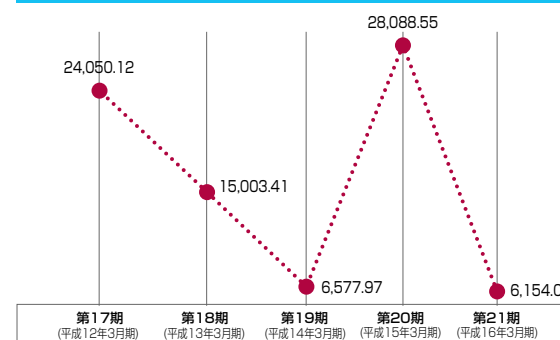
## 経常利益・当期純利益 単位:百万円



## 事業別売上高 単位:百万円



## 1株当たり当期純利益 (EPS) 単位:円



\*当社は、平成15年11月20日付で普通株式1株を5株に分割したため、第21期のEPSは上記の通りとなっております。

# 連結財務諸表 Consolidated Financial Statement

## 連結貸借対照表(要旨)

単位：千円

資産の部	前期	当期
	平成15年3月31日現在	平成16年3月31日現在
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,242,609	3,822,338
受取手形及び売掛金	2,389,850	2,509,989
たな卸資産	1,513,741	1,404,951
繰延税金資産	305,799	342,991
未収入金	197,874	124,182
前渡金	47,162	34,618
その他	84,140	96,427
貸倒引当金	△42,486	△11,493
<b>流動資産合計</b>	<b>7,738,689</b>	<b>8,324,003</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,018,344	1,827,299
機械装置及び運搬具	66,182	52,255
工具器具備品	285,454	273,964
土地	1,577,500	1,515,997
<b>有形固定資産合計</b>	<b>3,947,480</b>	<b>3,669,515</b>
無形固定資産		
ソフトウェア	72,171	440,944
ソフトウェア仮勘定	99,864	7,461
その他	11,531	10,042
<b>無形固定資産合計</b>	<b>183,566</b>	<b>458,447</b>
投資その他の資産		
投資有価証券	82,570	181,058
敷金・差入保証金	74,514	88,660
長期未収入金	—	13,910
長期前払費用	45,371	—
会員権	11,720	11,720
保険積立金	106,909	76,559
繰延税金資産	106,233	165,618
その他	10,257	5,139
貸倒引当金	△7,827	△3,686
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>429,747</b>	<b>538,978</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>4,560,793</b>	<b>4,666,940</b>
<b>資産合計</b>	<b>12,299,482</b>	<b>12,990,943</b>

単位：千円

負債の部	前期	当期
	平成15年3月31日現在	平成16年3月31日現在
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	2,426,522	2,437,469
短期借入金	594,386	700,000
一年内償還予定社債	200,000	—
一年内返済予定長期借入金	589,456	324,200
未払法人税等	339,034	215,717
未払金	508,191	1,066,697
前受金	91,779	97,968
賞与引当金	286,782	262,183
その他	133,305	120,429
<b>流動負債合計</b>	<b>5,169,455</b>	<b>5,224,663</b>
<b>固定負債</b>		
社債	500,000	700,000
長期借入金	1,107,780	587,000
退職給付引当金	199,321	234,943
役員退職慰労引当金	238,794	145,397
その他	134,223	400,983
<b>固定負債合計</b>	<b>2,180,118</b>	<b>2,068,323</b>
<b>負債合計</b>	<b>7,349,573</b>	<b>7,292,986</b>
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	48,725	—
<b>資本の部</b>		
資本金	1,302,650	1,533,050
資本剰余金	1,069,550	1,374,290
利益剰余金	2,406,006	2,887,171
その他有価証券評価差額金	9,817	6,236
為替換算調整勘定	113,161	△102,790
<b>資本合計</b>	<b>4,901,184</b>	<b>5,697,957</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>12,299,482</b>	<b>12,990,943</b>

## 連結損益計算書(要旨)

単位：千円

	前期	当期
	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>15,036,968</b>	<b>16,514,894</b>
売上原価	7,595,290	7,929,808
<b>売上総利益</b>	<b>7,441,678</b>	<b>8,585,086</b>
販売費及び一般管理費	6,406,894	6,882,918
<b>営業利益</b>	<b>1,034,784</b>	<b>1,702,168</b>
営業外収益	82,953	60,112
営業外費用	87,104	91,730
<b>経常利益</b>	<b>1,030,633</b>	<b>1,670,550</b>
特別利益	14,589	14,154
特別損失	108,819	553,836
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>936,403</b>	<b>1,130,868</b>
法人税、住民税及び事業税	589,426	648,279
法人税等調整額	△157,228	△108,228
少数株主利益(控除)	1,442	1,719
<b>当期純利益</b>	<b>502,763</b>	<b>589,098</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位：千円

	前期	当期
	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,773,758	1,068,554
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184,364	△124,652
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,038,915	△129,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63,133	△203,730
現金及び現金同等物の増加額	487,346	610,504
現金及び現金同等物の期首残高	2,583,354	3,070,700
現金及び現金同等物の期末残高	3,070,700	3,681,204

## 連結剰余金計算書(要旨)

単位：千円

	前期	当期
	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
<b>資本剰余金の部</b>		
資本剰余金期首残高	1,069,550	1,069,550
資本剰余金増加高	—	304,740
<b>資本剰余金期末残高</b>	<b>1,069,550</b>	<b>1,374,290</b>
<b>利益剰余金の部</b>		
利益剰余金期首残高	1,989,713	2,406,006
利益剰余金増加高	502,763	589,098
利益剰余金減少高	86,470	107,933
<b>利益剰余金期末残高</b>	<b>2,406,006</b>	<b>2,887,171</b>

## 単体貸借対照表(要旨)

単位：千円

資産の部	前期	当期
	平成15年3月31日現在	平成16年3月31日現在
流動資産	4,974,911	5,525,980
固定資産		
有形固定資産	3,292,730	3,265,128
無形固定資産	168,350	449,542
投資その他の資産	1,743,717	1,801,577
固定資産合計	5,204,797	5,516,247
<b>資産合計</b>	<b>10,179,708</b>	<b>11,042,227</b>
負債の部		
流動負債	4,531,802	4,419,959
固定負債	1,986,046	2,068,052
<b>負債合計</b>	<b>6,517,848</b>	<b>6,488,011</b>

資本の部	前期	当期
	平成15年3月31日現在	平成16年3月31日現在
資本金	1,302,650	1,533,050
資本剰余金	1,069,550	1,374,290
利益剰余金	1,279,843	1,640,640
その他有価証券評価差額金	9,817	6,236
<b>資本合計</b>	<b>3,661,860</b>	<b>4,554,216</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>10,179,708</b>	<b>11,042,227</b>

## 単体損益計算書(要旨)

単位：千円

	前期	当期
	平成14年4月1日から平成15年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
売上高	11,565,954	12,360,868
売上原価	7,285,388	7,379,336
<b>売上総利益</b>	<b>4,280,566</b>	<b>4,981,532</b>
販売費及び一般管理費	4,062,264	4,513,451
<b>営業利益</b>	<b>218,302</b>	<b>468,081</b>
営業外収益	199,842	361,411
営業外費用	81,097	59,843
<b>経常利益</b>	<b>337,047</b>	<b>769,649</b>
特別利益	14,063	17,584
特別損失	107,241	94,220
<b>税引前当期純利益</b>	<b>243,869</b>	<b>693,013</b>
法人税、住民税及び事業税	248,253	188,524
法人税等調整額	△135,255	27,621
<b>当期純利益</b>	<b>130,871</b>	<b>476,868</b>
前期繰越利益	1,126,621	1,154,022
合併による子会社株式消却損	—	12,706
<b>当期末処分利益</b>	<b>1,257,492</b>	<b>1,618,184</b>

## 利益処分

単位：千円

	金額
当期末処分利益	1,618,184
<b>計</b>	<b>1,618,184</b>
これを次のとおり処分いたします。	
<b>利益配当金</b>	<b>188,040</b>
〔1株につき普通配当1,000円、株式公開記念配当1,000円〕	
役員賞与金	15,500
(うち監査役賞与金)	(2,500)
<b>次期繰越利益</b>	<b>1,414,644</b>

## トピックス

# TOPICS

### ■「BCN AWARD 2004」タブレット部門最優秀賞受賞!

当社は「BCN AWARD 2004」の「タブレット部門」におきまして、最優秀賞を受賞しました。今回の受賞で、2000年から5年連続の受賞となります。

BCN AWARDとは、株式会社BCN社のBCNランキングに基づいて、パソコン関連商品の年

間販売台数第1位のベンダーに贈られるもので、実売台数という客観的な指標に基づく国内で唯一の賞です。

これもひとえに、日頃よりタブレットをご愛顧いただいております皆様のお陰によるものと、深く感謝申し上げます。



### ■「WACOM FAVO (ファーボ)」から新世代機種が登場!

#### お客様の声からより使いやすく、高性能に、そしてスタイリッシュに

ペンタブレットのリーディングブランドである「WACOM FAVO」。このたび、従来のユーザーはもとより、ペンタブレットを使用した経験のないお客様のご意見も積極的に取り入れて、世界のクリエイターが使える高性能を備えた新機種「F-430」と「F-630」の2種を2003年9月に発売しました。

新FAVOは、上位機種並みに読み取り分解能をアップさせ、書き味を自然に、細かい作業をやりやすくし、手書きの感覚をより再現できるようになりました。

今後もお客様の声を使いやすさ、性能、デザインに反映した次世代製品の開発に取り組んでまいります。



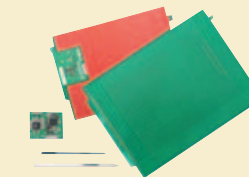
### ■ワコムのペン/センサーコンポーネントをHPに提供

#### タブレットPCメーカー全社がワコム推奨へ

米国のヒューレット・パッカード社が新たに発売した高性能タブレットPC「HP Compaq Tablet PC TC1100」に、ペン入力コンポーネントとして当社のコードレス・電池レス電子ペンおよび入力センサー(=ペナブル・テクノロジー)が採用されました。

今回導入された「ペナブル電子ペン」は、タブレット部分からの電磁波によって駆動する特徴があり、コードや電池が要らず、筆圧を感知して液晶画面内容が正確に入力できます。

この結果、タブレットPCメーカー全16社(当社推定)が当社技術を採用したことになります。



### ■CALS/ECおよびマルチリンガルにも対応

#### 「ECAD/dio (ディオ)」Ver4.0新発売!

設計から製造までのプロセスの効率アップを実現し、電気制御設計用CADでは業界No.1であるECADシリーズの「ECAD/dio (ディオ) Ver4.0」を9月に発売を開始しました。

豊富で使い易い作図機能により生成されたデータのインターオペラビリティ(相互運用性)を強化し、多彩な製造工程支援機能と全自動電

線加工機とを組み合わせることで、設計製造効率の40%アップ(従来比の当社試算)を可能にしました。当社は豊富な業界経験を元に従来から評価の高い布線表機能や部品管理機能を更に充実することで、設計と製造・販売部門との効率的なシステム間連携を実現します。



# 会社の概要 Corporate Data

(平成16年3月31日現在)

設立年月日 1983年7月12日

資本金 15億3,305万円

社員数 単独284名 連結420名

事業内容 1. 電子機器事業

【コンピュータ入力機器の開発・製造・販売】

- プロフェッショナルグラフィックス・タブレット
- コンシューマグラフィックス・タブレット
- 液晶一体型タブレット
- ペン・センサーコンポーネント

2. ECS事業

【CAD/PDMシステムの開発・製造・販売】

- 電気設計用CAD ○PDM

3. EHI事業

【ペンソリューションの開発・製造・販売】

- 電子印鑑

取引銀行 みずほ銀行、UFJ銀行、東京三菱銀行、埼玉りそな銀行、住友信託銀行、日本政策投資銀行、他

役員 (平成16年6月24日現在)

代表取締役社長	山田 正彦
取締役	沖 壮視
取締役	山本 定雄
取締役	藤島 安之
常勤監査役	水野 晴夫
監査役	蛭谷 毅
監査役	嘉村 孝

執行役員

代表執行役員	山田 正彦
執行役員	山本 定雄 (技術開発担当)
執行役員	若林 裕司 (ECS事業担当)
執行役員	川下 恭二 (EHI事業担当)
執行役員	沖 壮視 (総務本部長)
執行役員	小見山 茂樹 (オペレーション担当)
執行役員	長谷川 渉 (財務本部長)

本社/工場 〒349-1148 埼玉県北埼玉郡大利根町豊野台二丁目510番地1 TEL:0480-78-1211(代表) FAX:0480-78-1220

支社・営業所

東京支社 〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー18F

札幌営業所 〒060-0032 北海道札幌市中央区北2条東1-2-10 日宝北2条ビル4F

信越営業所 〒386-0027 長野県上田市常磐城4-1-12

名古屋営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-6-17 オリジン錦ビル8F

大阪営業所 〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-4-14 ショーレイビル807

福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-6-23 住友博多駅前第2ビル5F

関連会社

Wacom Technology Corporation (アメリカ)  
1311 SE Cardinal Court, Vancouver, WA 98683 U.S.A.

WACOM Europe GmbH (ドイツ)  
Europark Fichtenhain A9 D-47807 Krefeld Germany

WACOM China Corporation (中国)  
〒100027 中華人民共和国北京市朝陽門北大街6號北海万泰深大厦611

WACOM Components Europe Ltd.  
St John's Innovation Centre Cowley Road Cambridge CB4 0WS England

Wacom Digital Solutions Co., Ltd. (韓国)  
大韓民国ソウル特別市江南区駅三洞662-18 江南テレビアビル9階

## 株式の分割に関するお知らせ

当社は、平成15年8月8日の当社取締役会で、同年11月20日付で株式分割を実施することを決議し、投資単位の引き下げと流通株式の増加を図ることを目的に、普通株式1株を5株に分割いたしました。これにより、より多くの投資家の皆様にお取り引きいただける環境が整いました。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 株式の状況 Shareholders Information

(平成16年3月31日現在)

■株式の状況

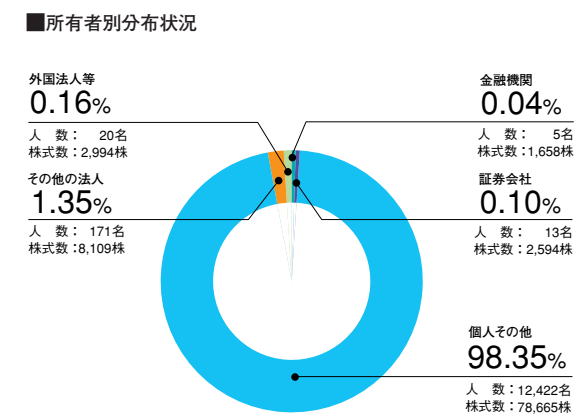
会社が発行する株式の総数 ..... 345,000株

発行済株式の総数 ..... 94,020株

株主数 ..... 12,631名

■大株主の状況

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
惠藤 洋治	11,107	11.81
株式会社新匠栄	3,025	3.22
小川 義水	2,000	2.13
ユニテック・ホールディングス・インターナショナルカンパニー・リミテッド	2,000	2.13
山田 正彦	1,855	1.97
松井証券株式会社(業務口)	1,551	1.65
金岡 秀司	1,503	1.60
株式会社オージック	1,500	1.60
シティトラスト信託銀行株式会社 GA口07	1,375	1.46
野田 亨一	1,157	1.23



※本事業報告書で使用している「デジタルペーパー」は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

## 株主の皆様へアンケートのお願い

当社では、株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただきたく存じます。お手数ではございますが、質問にお答えいただき、ご投函ください。ご協力お願いいたします。

1.当社の株式を購入された理由は何でしょうか。  
a.将来性 b.収益性 c.経営理念 d.事業内容 e.財務内容  
f.株価の割安感 g.証券会社からの勧誘 h.その他( )

2.当社に今後希望するポイントは何でしょうか。  
a.情報提供 b.利益還元 c.安定的な経営 d.積極的な事業拡大  
e.その他( )

3.下記のどの商品・製品に関心をお持ちですか。  
a.intuos b.FAVO c.Cintiq d.ペン・センサーコンポーネント  
e.ECAD f.電子印鑑 g.その他( )

4.当社の製品を利用したことがありますか。  
a.ある b.ない c.購入を検討中  
「a.ある」および「c.購入を検討中」とお答えいただいた方は、製品名をお書きください。  
( )

5.今回の事業報告書につきまして、どの箇所に興味をお持ちになりましたか。  
a.今後の展開 b.事業内容 c.財務データ d.株式の状況  
e.経営理念&方針 f.トピックス g.その他( )

その他、当社に対するご意見・ご希望があればお願いいたします。

ご協力有難うございました。